

Date : 10 September 2021
Subject : BULLETIN NO.3

Time 14:00
Document No 1:03

From : Clerk of course
To : All competitors/ Crew Members
Number of pages _ 2 _ Attachments _ 1 _



ブリーフィング資料

アクシデント発生時のセーフティ手順

- 1) 全ての競技者は、FIA 地域ラリー選手権規則の 40.3、40.4 条と付則 III の 5.5 と 5.6 を熟知しなければならない。
- 2) 赤の SOS サインが提示されている場合は、必ず停車し、事故を起こしたクルーを援助しなければならない。ケガをしているクルーを救助し、救急サービスを出来る限り早く出動させることは、各クルーの義務である。
- 3) 事故現場に最初に到着した車両は、停車して、後続の全車両に状況を伝えなければならない。
- 4) 二番目に現場に到着した車両は、以下の情報を次のラジオポイント（又はフィニッシュコントロール）に伝達しなければならない。
 - ・事故を起こした車両のカーナンバー。
 - ・クルー及び観客のケガの有無。ケガ人が居る場合は、その人数。
 - ・クルーが車両から出られない、又は観客が車両に挟まっている状態にないかどうか。
 - ・事故現場の位置（ロードブックに記載している一番近いコマ図又は道路キロ標識）。
 - ・その他あらゆる重要な情報（火事、水没など）。
- 5) SOS サインが提示されている場合は、後続の車両は停車しなければならない。
「OK」「SOS」ボードを提示することが出来ない状況にあるときは、クルーによって示される添付 1 に示す明確に理解できるジェスチャーで置き換えることが出来る。
- 6) SS 内に車両が路上以外の場所に停車している場合でも、非常用停止標示板を停車している車両から 50m 以上離れている見やすい場所に置かなければならない。
- 7) 競技の緊急電話番号 0155-64-2011
- 8) リタイヤする場合はオーガナイザーに通知しなければならない。 0155-64-2200
- 9) 全てのリタイヤした競技者は、できる限り早く一番近いコントロールポイントにタイムカードを返却しなければならない。

以上

Clerk of course
Ryuji MAKITA

栢田 龍史

Stewards of the Meeting

Int'l Chief Steward
Atsushi FUJIWARA

藤原 篤心

Int'l Steward
Jun FUNAKOSHI

船越 元母

全日本審査委員長

七日 定明

全日本審査委員

藤原 篤心

全日本審査委員

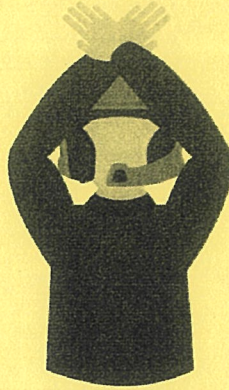
藤原 篤心

添付1

「OK」 「SOS」 ジェスチャー



OK



SOS